

こうじ 工事の げんば 現場より

旧矢筈原家住宅 保存修理事業

9月2週目

今はこんな様子だよ。

修理現場から
文化力
POWER OF CULTURE

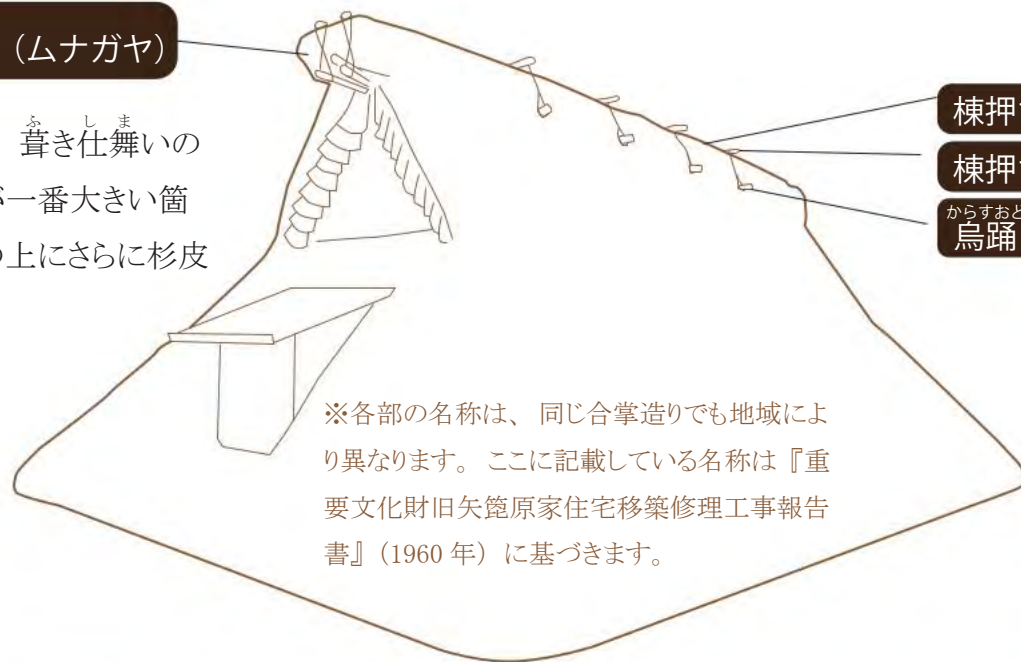


「^{こうがいむね}筧棟」を形作る作業が順調に進んでいます。^{からすおど}鳥踊りを納めたあと、「^{むなづ かや}棟積み茅」を厚く積み重ね、その上に杉皮を3枚重ねました。それを押さえるように棟方向に「^{むね お}棟押さえ丸太」を並べて流し、さらにその上に、^{からすおど}鳥踊りと同じ位置に同じ方向で「^{むね お}棟押さえ上丸太」を並べました。^{むね お}棟押さえ上丸太と^{からすおど ふじづる}鳥踊りを藤蔓で結び付け（補助として太い針金でも結束）ることで、^{むなづ かや}棟積み茅をしっかりと止め付けます。

こうがいむね 筧棟

^{むなづ}棟積み茅（ムナガヤ）

屋根の頂部（^{むね}棟）に積んだ茅束。^{かやたば}葺き仕舞いの納まりであり、また雨漏りのリスクが一番大きい箇所のため、厚く茅束を重ね、その上にさらに杉皮を3枚重ねます。



^{むね お}棟押さえ丸太

^{むね お}棟押さえ上丸太

^{からすおど}鳥踊り

厚く積んだムナガヤを押さえつけるため、最上部に^{むね}棟押さえ丸太を棟方向に流し、その上に^{むね}棟押さえ上丸太を置く。^{むね}棟押さえ上丸太と、屋根の途中に差し込む形で設けた^{からすおど ふじづる}鳥踊りを藤蔓で結びつけます。（今回葺替では藤蔓が劣化により切れる可能性を想定し、結束は太い針金で行い、飾りとして藤蔓を取り付けます。）



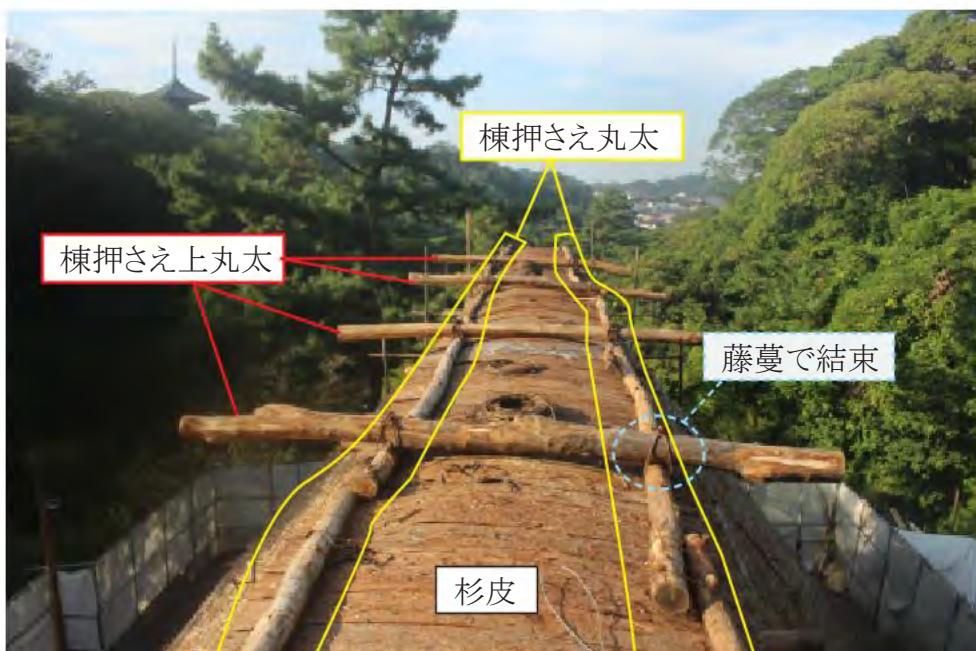
過去のお知らせはこちら



^{むなづ かや}棟積み茅の先端部の取付作業。屋根の妻面から飛び出ているので、^{くず たわら}崩れないよう事前にしっかり俵状に結び固めた茅束を重ね積んでいる。



^{むなづ かや ふ}棟積み茅の葺き重ね状況。水はけのため、茅は外側に傾くように積み重ねる。



^{むね お}棟押さえ丸太、^{むね お}棟押さえ上丸太の設置状況。藤蔓で留め付けている。



^{むね お}棟押さえ上丸太と^{からすおど ふじづる}鳥踊りを藤蔓で結び付けて留める。